

平成30年度
葦崎北東小学校
学校だより

たかの子通信

発行日
平成30年12月6日
発行責任者
校長 向井眞勝

児童会最大行事 ふれあい祭り

11月15日、児童会主催の行事「ふれあい祭り」が開催されました。

2年生以上の各クラスが、それぞれに創意工夫した催し物(店)を考えました。

2年生が「ワクワクランド」、3年生が「ふれあいスポーツセンター」と「カモンベビー3の2」、4年生が「みくちゃんのもうそうランド」と「今日だけの大切な町」、5年生が「怪盗は君だ!! 集中! 熱中! 脱出中!」と「アスレチックジャングル」と「あなたはどろぼうです」、6年生が「歴史たんけん館」と「わたしの生首はどこいった?」という店名でした。これらをみただけでも、「何をするのかな?」「おもしろそうだな?」・・・とワクワク・ドキドキするものばかりです。

子どもたちは、時間を忘れて大いに楽しみました。

学校教育目標

心身ともにたくましく

豊かな人間性をもつ子どもの育成

- ・進んで学ぶ子ども・豊かな心をもつ子ども
- ・じょうぶな子ども・ふるさとを愛する子ども



5年2組



3年2組



2年3組



2年1組



6年2組



4年2組



4年1組



5年1組



3年1組

このふれあい祭りには、「学習の発表の機会とする」「クラスでの活動を通して所属意識を育てる」「異学年間の交流を深める」という、3つのねらいがあります。

子どもたちの生き生きとした姿、キラキラと輝く瞳、すてきな笑顔を見ていると、ねらいが達成できたのではないのでしょうか。同時に、祭りの果たす役割の大きさも実感できました。

この学校だよりや掲載されている行事等の様子は、本校のブログでもご覧いただけます。

2年2組



6年1組



入場前の受付

5年3組



おいしい「ほうとう」ができました

11月19日、6年生が、学区の食生活改善推進員の皆様にご指導いただいて、ほうとうづくりに挑戦しました。

これは、総合的な学習の時間の「食育」の一環で、「山梨県の郷土料理を作ることによって、郷土料理への理解と昔の人たちの知恵を知る」「地域の方々との交流を深め、郷土料理の作り方を教わる」ことにより、感謝の気持ちを持てるようにする」ことをねらいとした取組です。

自分たちで作ったほうとうを堪能し、「家でも作ってみたいです」「とてもおいしくて、もっと食べたかったです」など、大満足の6年生でした。

ご指導いただいた地域の皆様に感謝申し上げます。



均等に伸ばすのは難しいです。



ちょうどよい幅に切りました。



おいしくいただきました。

四ツ打ち体験

11月27日、武田の里文化振興協会の「伝統芸能保存・継承事業」の一環として、藤井町・四ツ打ち保存会の皆様にお越しいただいて、四ツ打ちを披露していただきました。

各学年の代表が、輪の中に入って一緒に踊った後、全校でも体験しました。



保存会の皆様の輪の中に入って踊りました。



感想発表をする6年生

子どもたちに聞いたら、「思ったより簡単に踊ることができて楽しかった。」とのことでした。